寫眞週報
情報局編輯
十月七日・第二百四十一號・十セン
昭和十三年二月十二日 第三種郵便物認可 昭和十七年十月七日發行（毎週一回水曜日發行） 第二百四十一號

卒業生諸君へ餞の言葉

君たちが學窓に在つた時
同じ年頃の多くの青年は
泥濘を、峻嶮を、熱砂を進軍していつた
しかしいくたりかは還らない

若いものの自負が、そして若いものの倫理が
何處に立たうと安易な途をいくことを
許さない筈だ
さあ、進んで苦難を背負はふぢやないか

軍神加藤少將 陸軍葬

九月二十二日 東京

空の軍神加藤建夫少將の陸軍葬は、月こそかはれその命日にあたる九月二十二日、東京築地本願寺において厳かに執り行はれた

慟哭くかのやうに降る秋雨、縷々と立ちのぼる香煙。この日このひと時この翼の巨星を悼んで、一億國民の心もまたひとしく悲しみにかき曇つた……明星は波心に隕ちたり、報を傳へて全軍の將士は寂として聲なく、齊しく君の爲に深沈なる哀悼を捧げて勇氣愈々百倍せり……東條兼攝陸軍大臣の弔辭が切々と胸をうつた

軍神の靈前に燒香する母堂キミ刀自と三男雄三君

大臣を陣頭に

東條總理東大卒業生を激勵

⇨ 一億國民に耳馴れた名調子、陣頭に立つ熱と力がぐい〳〵聽く者の心をつかんでゆく

⇦ 總理の言葉を聞き洩らすまじと耳を澄まし、巣立つ決意を新たにする新卒業生たち

まだ黄に染まぬ大銀杏にしつとり包まれた東京帝國大學の大講堂から、東條內閣總理大臣の凜凜たる激勵の言葉が流れ出る。……九月二十五日、同校の繰上げ卒業式に出席した總理が、二千百二十八名の卒業生を通じて、全國の新卒業生に送る感激溢れる祝辭だ

『こゝにおいてか、私は諸君が、古歌に歌はれる『みたみわれいけるしるしあり天地の榮ゆるときにあへらく思へば』の感激と熱とを日に〳〵新たにし、『斃而後已』氣魄を以て、進んであらゆる困難を突破せられんことを切望し且つ強くこれを期待して已まないものであります……』

迫力のある一語々々が、今日學窓を巣立つ晴れの學生の胸に、辛勞幾年、今日の日を待つた父兄の胸に、じーつと浸みこむ。『さうだ、麾下に馳せ參ずる日が來たのだ』『今日から伜も一人前み國のお役に立てるのだ……』東條總理が自ら陣頭に指揮するところ、一億あげて米英擊滅に突進するの縮圖を見せて如何にも賴もしい卒業式風景であつた

⇨學生時代よさらば、今こそ我等新進氣鋭が一杯の御奉公をする日がきたぞ。卒業證書を手に足取りも輕く校門を辭す

⇦この卒業證書には子の知らぬ數々の苦勞が秘められてゐる。その苦勞も今日の晴れ姿に忘れて…

大臣を陣頭に
岸商相地下千尺に入る

福島縣　古河好間炭礦

⇦ 選炭場――コンベヤーで運ばれる石炭は娘さんたちの鮮かな手さばきで次々と處理されてゆく

⇦ これだけの増産を確保されるには並大抵の御苦勞ではないでせう…岸さんしんみりと心からお禮をいつた

十二月八日以來、鑛山の『陣頭指揮』はもう常識だ。どこの鑛山でも所長も坑夫も全山、がつちりと必勝必死の鶴嘴を揮つて増産と取組んでゐる。『この俺のハンマーで米英のハンマーと決戰だ』その意氣と覺悟はもう日本の鑛山の戰士が胸底深くたゝんだ合言葉だ。これがほんとの日本の底力といふものだらう

『僕はどうしてもあの人たちの前に頭を下げて心からお禮をいひたいのだ』岸さんはさういつて東京を立つと常磐炭田の各炭礦を訪れ、地下数千尺の坑内に鶴嘴戰士を見舞つて『ありがたう、たのみますよ』といつて廻つた岸さんの眞心は北海道の鑛山にも、九州の鑛山にもぴたりと通じるだらう。そして岸さんの氣持はとりもなほさず一億國民のお禮の心でもあるわけだ

⇨ゴロ〳〵〳〵…にぶい音を坑内に響かせて炭車が幾臺も續く。そのどれにもつやのいゝ石炭がずしりと積まつてゐる

⇦切羽（きりは）——石炭採掘の最前線にも岸さんはお禮をのべにやつて來た。山の戰士はそれがほんとにうれしかつた

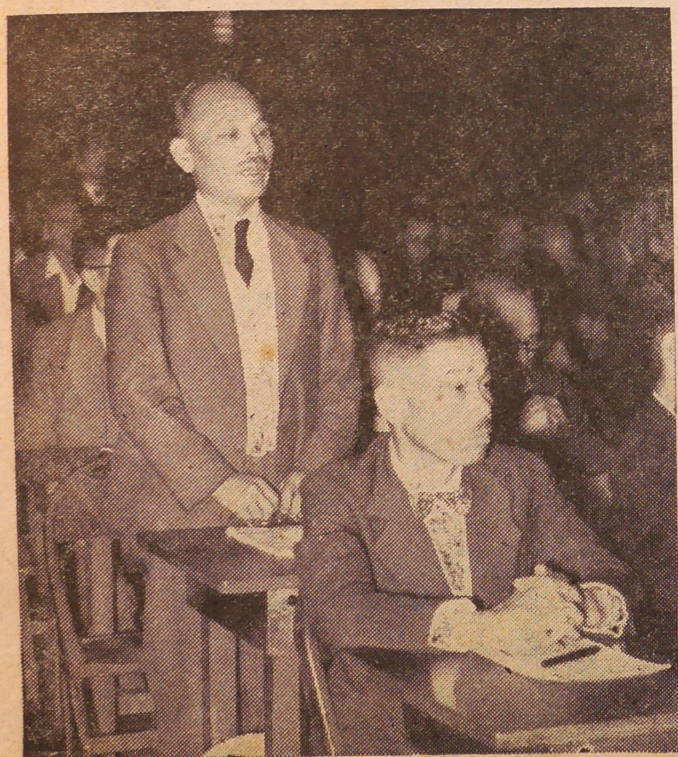
大臣を陣頭に

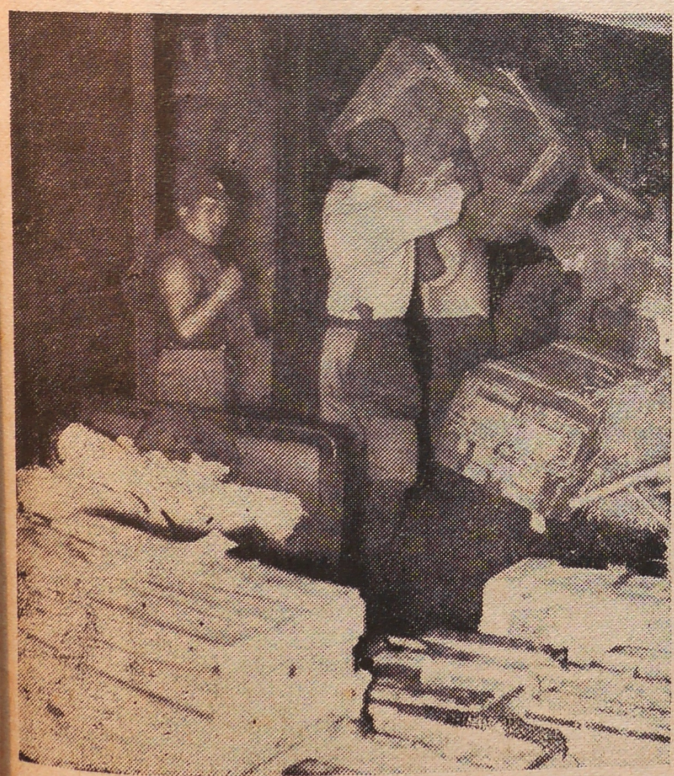
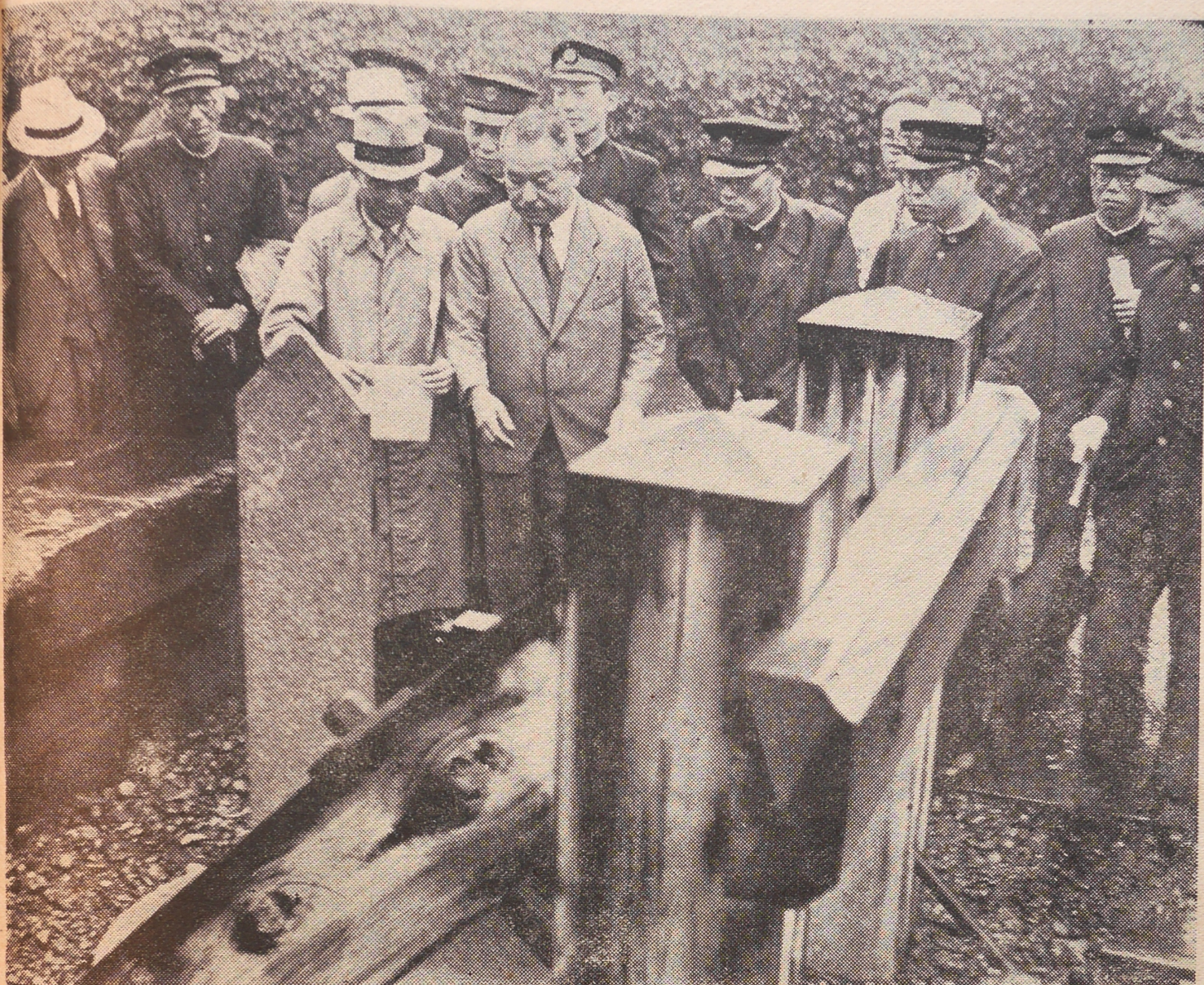
賀屋藏相街に說く

⇨今日では貯蓄は個人のためでなく國家のためにするのだといふことになりました——と賀屋さんの話は續く

⇦町會長、隣組長、國民學校の校長さんたちは眞劍に賀屋さんの話に聴き入る

戰時下日本のお臺所をあづかる總元締賀屋大藏大臣は東京市内三十五區に開かれる『貯蓄增强懇話會』に『何分よろしく賴みます』と陣頭指揮を振つてゐます。九月二十五日夜、芝區の懇話會會場に出席した賀屋さんは『私たちの必勝の信念をこの貯蓄に具現すること、それが前線の將兵に對する感謝でありませう』と述べれば、出席の町會長、隣組長や國民學校の校長さんもなほ一層貯蓄報國に邁進することを約束し合ひました

私たちの僅かの貯蓄が集り、積つて、軍艦や、大砲になることはもうよく知つてゐます。前線の兵隊さんからさへも貯金がどん〳〵送られて賀屋さんを感激させてゐます。私たちも、さあもう一息がんばつて、目標の二百三十億をはるかに突破させて、新らしい軍艦や飛行機をうんと作らうではありませんか

⇨ 定刻までには會場はすつかり一杯になつてしまつた

⇦ 賀屋さんの話が終ると出席者のあちこちから政府の方針、貯蓄の新工夫等について熱心な質問が出る

⇨汐留驛の驛長室に陣取つて驛員達から眞劍な報告をうけ、いちく大きくうなづく大臣の眉宇にも、輸送陣總指揮官の重大責任に對する決意がうかゞはれる

⇦ドシく搬出される貨物。現場の力强い動きは陣頭に立つた大臣の眼に頼もしく映る

大臣を陣頭に

八田鐵相レールに立つ

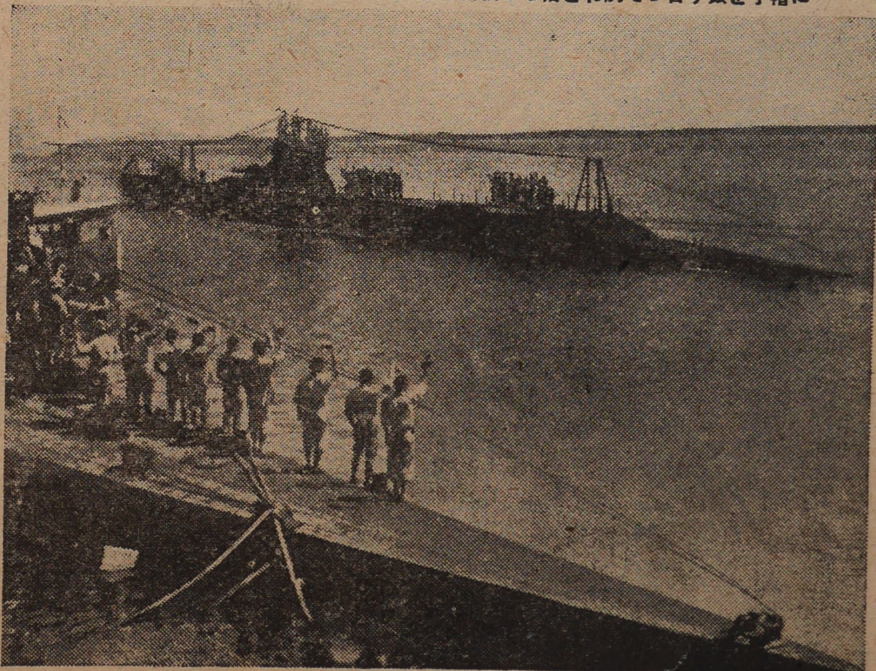
⇨ 驛員の説明を聽く間にも大臣の注意は八方に働く。陣頭に立つ人の鋭い神經が全國鐵の精神をぴり〳〵と緊張させるのだ

⇦ 輸送戰線の第一線に現はれた大臣は貨物の山を眼前に挺身する現業員を鼓舞激勵する

日本の鐵道輸送の總指揮官八田鐵道大臣は、九月十九日朝八時、突如、魚屋さん、八百屋さんで雜沓する東京築地の中央市場に現はれた。こゝは帝都七百万市民のお臺所、輸送陣の活動狀況も手に取るやうに反映される。八田さんは早速市場長室に入つて、鐵道車輛の配車、入荷狀況等を詳しく聽取したのち、秋鯖や鰯のうろこにまみれながら約一時間にわたつて場内を隈なく視察した。かくて兵站線の視察を終へた八田さんはさらにその足で汐留、芝浦の兩驛を視察し、輸送陣を激勵して引揚げたが、全國卅數万國鐵從業員の陣頭に立つて輻輳する戰時輸送の齒車を大きく速く廻轉させようとする親心こもる指揮ぶりであつた

世界史をぐつと大きく轉換させた日獨伊三國同盟締結の記念日を目前に迎へんとするとき、帝國海軍が大西洋に進攻し、またドイツ海軍が相呼應してインド洋に進出し、相互に緊密なる協同作戰の連繫を遂げた旨の大本營發表は開戰以來、國民の血を沸かして來た從來幾多の發表と內容においてその趣を異にするとともに、意味において全く劃期的であつた。即ち、開戰十ヶ月にして太平洋、インド洋の大半を制し、さらに遙か地球の反對側にあたる一万餘浬彼方の大西洋を戰域に加へたこの雄渾な作戰は、帝國海軍が米英擊滅戰において地球上いづれの海域にも出擊し得る實力と決意を世界に闡明したものである

第二次歐洲大戰勃發前、米英は日獨伊が新らしき世界觀を達成せんがために互に提携して迫つて來ることを恐れ、懷柔または恫喝的の工作に奔走したが、その結果は支那事變と歐洲戰爭を誘發し、遂に三國同盟を完成せしめるに至つたのである。まづ歐洲における新秩序を建設せんとし、また東亞の新秩序を建設せんとして、共同の敵米英を擊滅せんと鬪ひつゝある第二次歐洲戰爭といひ、また大東亞戰爭といはるゝ東西異名の新秩序樹立の戰ひは、この樞軸海軍の完全なる協同作戰により、世界新秩序樹立を目標とする世界大戰の相貌を端的に具現したものといへよう

この樞軸海軍の握手は如何に樞軸三國の協力信頼が强固であるかを明らかにし、ます〳〵その提携を緊密ならしめることは勿論、また樞軸軍の握手こそは彼等が最も恐れたところであり、西南アジア、南東アフリカに彼等が懸命の努力を傾けて勢力を扶

イ海戰以來、帝國海軍に甚大なる打擊を受け、その成算を喪つた今日、この戰線においてはひそかに兵力を蓄積して一大反攻作戰の機を窺ひつゝ、まづ瀕死の英國を養ひ救ふべき海上輸血線たる大西洋戰線こそは敵米英陣營にとつてもつとも端的に勝敗を決すべき舞臺である。また先にルーズヴェルト、チャーチル會談において對樞軸戰略の主要目標を今日のところまづ『ドイツ打倒』に置くことを再强調されたと傳へられたが、これらより[illegible]して米英は今やこの第一戰線防

洋進出は樞軸軍を終局の勝利に推進する大なる契機をなすと共に、敵陣營に與へる打擊が物心兩面に亙つて如何に甚大であるかは想像に難くない

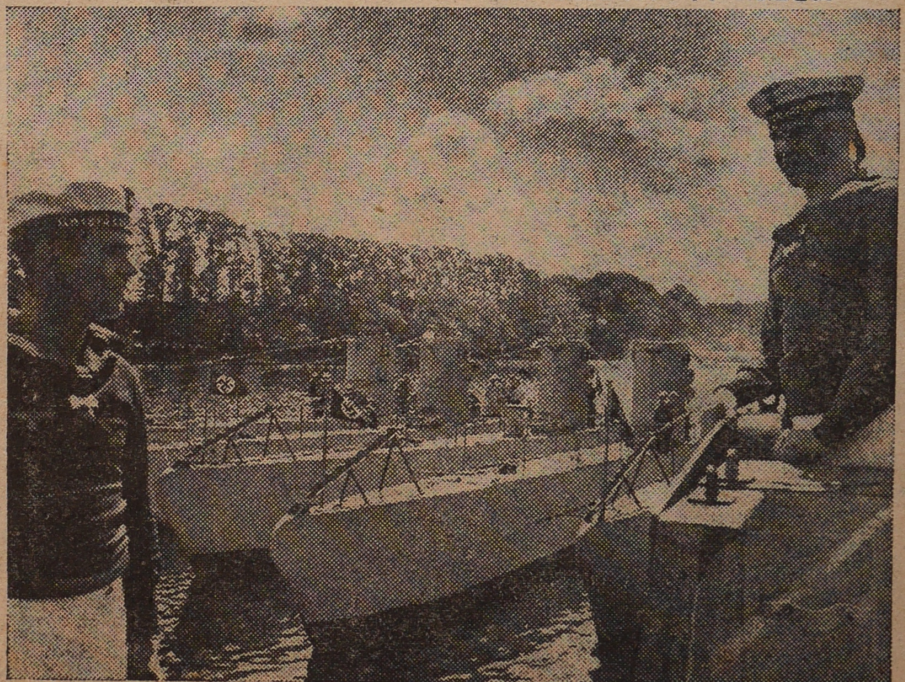
さらに樞軸海軍の提携による脅威は、今や孤兒的存在に追ひつめられつゝあるインド及び濠洲は勿論、南阿及び南米における敵性國家も一種底氣味惡き脅威を覺ゆると共に、米英頼むべからずといふ考へをいよ〳〵强化することであらう

いよいよ基地を拔錨渺茫の大洋から大洋へ敵を索めて出動するわが潛水艦と互に帽子を振り合つて別れを惜しむ戰友たち
（海軍省承認濟第五二四二號）

作戦こゝに実現

ソヴィエト聯邦
モスクワ
満洲國
中華民國
重慶
南京
日本
東京
大東島
鳴神島
熱田島
アリューシャン列島
ダッチハーバー
アラスカ
大鳥島
グァム島
ハワイ諸島
太平洋
フィリッピン
香港
マニラ
佛印
サイゴン
ビルマ
ラングーン
バンコック
タイ
昭南
スマトラ島
ボルネオ島
ジャワ島
バタヴィア
ニューギニア島
インド
カルカッタ
セイロン島
インド洋
トルコ
イラク
アラビア
エジプト
スエズ
アフリカ
マダガスカル島
ディエゴスアレス
オーストラリア
ダーウィン
シドニー
ニュージーランド
喜望峰

けて勢力を扶植し、何んとかしてこれを阻止しようとしてゐたのであつた。今や彼等の最も恐れた樞軸の握手は大本營發表の通り實現したのであるが、さらにこの握手は將來各方面に實現されるであらう

過般ルーズヴェルト大統領は爐邊談話において世界戰線を四分し、まづ大西洋戰線を以て第一に擧げてゐる。太平洋戰線はハワ

りして米英は今やこの第一戰線防衛に奔命しつゝあると見てよく、しかもこの時に我が海軍力の大西

大本營海軍報道部部員
海軍少佐　濱田昇一

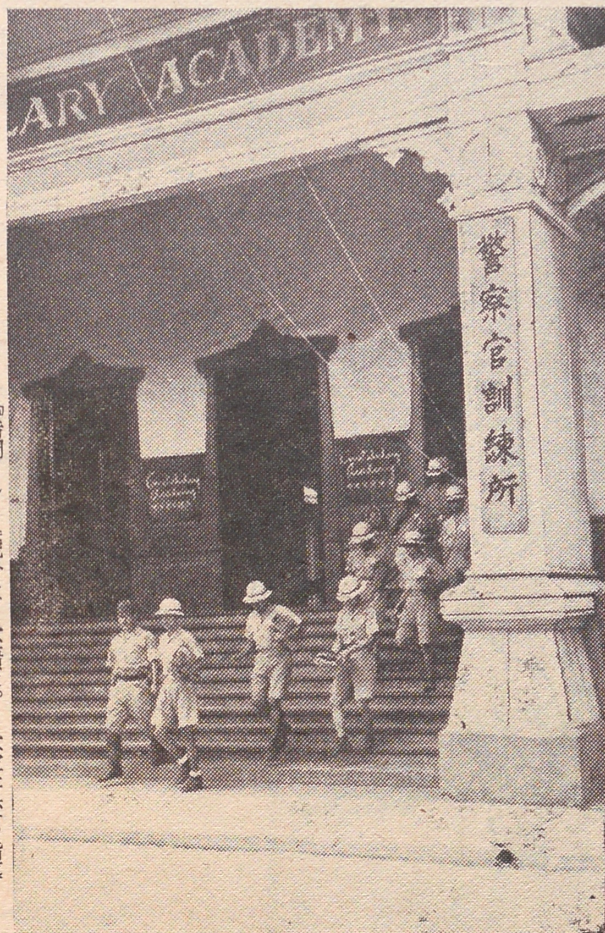
ハーケンクロイツ旗翩翩たるドイツ海軍〇〇基地　わが潛水艦は遠く大西洋の波を越えてドイツ海軍と直接手を握つたのてあゐ

大東亞戰爭日誌

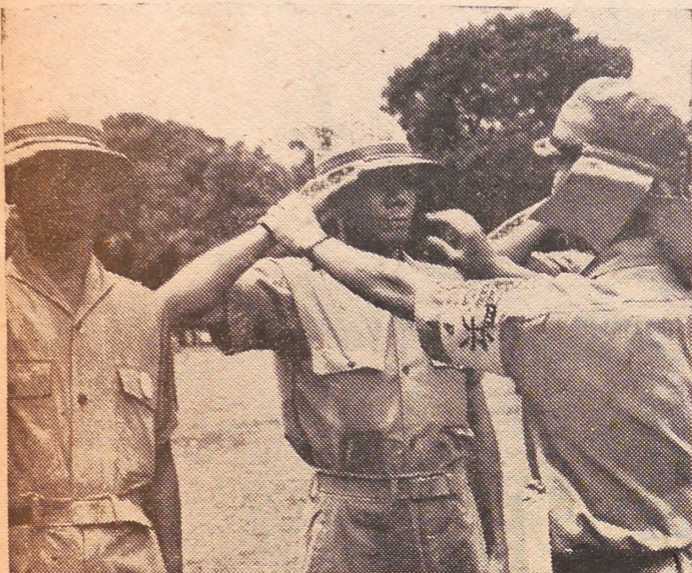
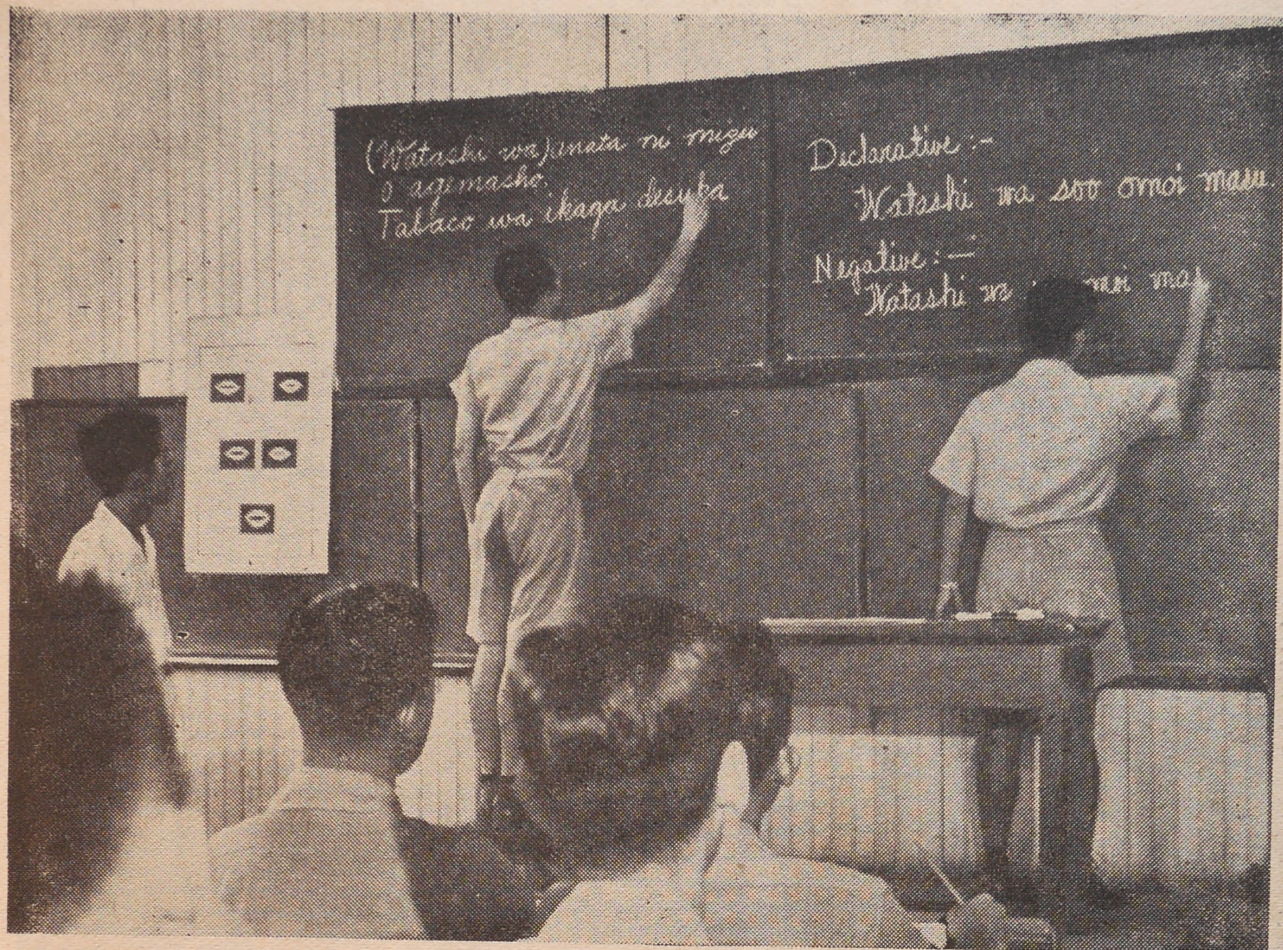
—九　月—

二十三日　アリューシャン列島方面帝國潛水艦は八月三十一日アトカ島ナザン灣を奇襲し米甲巡ノーザンプトン型一隻に大損害を與へ、さらに帝國驅逐艦は九月中旬同方面において敵潛水艦二隻を擊沈

二十五日　**一、帝國海軍兵力の一部は大西洋に進出し樞軸海軍と協同作戰行動に從事中　二、今次帝國海軍の大西洋獨作戰區域における作戰行動は、獨海軍兵力一部のインド洋における作戰行動と相俟つて、樞軸海軍協同作戰上その意義極めて重大　三、大西洋方面作戰中の帝國潛水艦の一隻は、最近歐洲の獨某海軍基地に寄港し、再び作戰海域に向け出動**

猛訓練うける マニラの警察官

フィリピンの治安第一線に立つべき比島人警察官の訓練所が日本軍の監督指導の下にマニラに開かれてゐる。こゝでは日本軍に積極的に協力して新比島再建に挺身する警察官の中堅分子や、地方警察官の指導者を養成するのが目的であるが、軍の指導の重點は精神陶冶にあるといへる。といふのは、米英的な考へ方が常識であつた彼等の以前の生活から、一足とびに東亞人としての自覺ある警察官に生れかはるには、相當の精神陶冶が必要だからである。彼等はこゝで犠牲の、協同の、忍耐の、責任の何たるかを身をもつて錬成する一方、警

× ×

『歩調トレー』號令は日本語だ。日本軍將校の指導の下に嚴格な教練が實施されてゐる ⇩

警官としての特殊技能を修得(しゅうとく)、心身ともに新たになつて民衆保護の重責をはたすわけである
在マニラ　久宗、深尾兩特派員

⇨ 敬禮も今までのやうなシッケイとはだいぶ違つてきた

柔道着もどうやら着こなせた。事に處して慎重果敢な敢闘精神が養はれる ⇩

⇦ 日本語を覺えることは急務だ。まづローマ字で會話の勉强だ

⇨芋掘りなどといふなま易しいものではない。うねの兩側をすいてから、うねの中央に鍬を入れると、ざく〳〵

貯藏はなるべく畠の隅に、甘藷が多い時は氣抜きを造り、種芋など少量の貯藏には、切藁または籾殻を芋の間に入れるとよい⇩

エプロンに包んだ燒いものそこはかとないぬくみ、笊一杯もり上げた蒸いもに塩を添へた野趣豊かな代用食甘藷も、以前のやうにはふんだんに手に入り難くなりましたが、それはこの甘藷が時局下、實に大きな役割を果してゐるからです。先づ甘藷を原料として、現在なくてはならないガソリン代用の無水アルコールが生産されます。次ぎに軍需用ブタノール（飛行機の特殊塗料、航空燃料）、廣汎な用途をもつ澱粉、各種化學工業用アルコール、飲料アルコール（合成酒、燒酎など）、カラメル（醬油の色味つけ）、清罐劑等……から列記すれば、さらに甘藷に對する認識も改まり、現在、聲を大にして甘藷増産の叫ばれるわけも肯かれるでせう

それで農家の新らしい課題、甘藷増産を解く一つの鍵――それがこゝに紹介した反當り一万斤といふ熊本縣鹿本郡千田村の大増産ぶりです

この増産を指導したのは同村農會技手黑川漸氏です。黑川氏は農

⇦家中が畑に出拂つたあとは、おばあさんが孫を相手に切りいもの乾燥にあたる

學校卒業後、學理應用の農作栽培の研究に専心して來た篤農家ですが、同地方の名産になつてゐる甘藷の栽培には特に意を注ぎ、この素晴らしい増産法を確立しました。三年前、千田村農會技手に就任して以來同氏は、これまでのやうに反當り千斤か千五百斤程度の收入では時局下申譯ないと、同村の篤農青年に呼びかけ、一万斤を目標にその栽培法を指導し、青年たちもまた同氏の熱心な指導に奮起し、甘藷増産一万斤期成會を組織するなどして、つひにこの朗かな増産風景を現出したのです

黒川式栽培法の眼目を次ぎにあげてみますと、（一）冬期の鋤返をして土地を軟かにし、排水をよくし、空氣の侵入をよくするやう準備しておくこと、（二）温床苗床（オンドル式温床ならばなほよい）を造り、ガラスまた油障子で覆ひをして強い苗の育成に努めること、（三）苗の良否により坪當り挿苗本數を定めること、（四）施肥期を考慮すること、（五）培土をしないこと（初めに畦を高く盛り上げておく）、（六）蔓返しに注意すること、（七）生育期間、收穫時期に對する留意（八）病虫害の防除に努めること、さらに貯藏法の改善、干甘藷を造る時期をあやまらないやうにすることなどです

撮影　梅本忠男

十分乾き切つたものを俵に詰め、檢査を濟していよ〳〵供出、勵みの結晶がいよ〳〵お國のお役に立つ日だ ⇩

⇦甘藷は薄く切つて、十分乾燥し、無水アルコールの原料として供出される

ここにも日獨協同

在京ドイツ婦人の
心をこめた贈物に

⇦水莖ならぬペンのあとも美しく楓軸女性の優しさをこめた慰問の手紙も綴られる

⇦寫眞に見入る東條内閣總理大臣夫人と說明するエタ―、ナチス婦人團支部長(中央)左端はオットー大使夫人、右端は荒木光太郎博士夫人

⇨ドイツ協會クラブに集つた日獨の慰問寫眞合作部隊

▼　▼　▼

傷病の身を養ふ日本の兵隊さんたちにつれづれの慰みをと、在京ドイツ婦人たちが心をこめた美しい贈物、白衣の勇士慰問『ドイツ文化風俗寫眞集』三百組が、軍人援護强化運動、日獨伊三國同盟二周年を間近に控へた九月二十五日、陸軍省へ屆けられました

これは先頃から約一ケ月間、東京市麹町區平河町のドイツ協會クラブにオットー大使夫人をはじめ在京ナチス婦人團員四十餘名が集つて酷暑をよそに作り上げた勞作で、美しい寫眞十枚を一組にまとめ、その一組毎に優しい慰問の手紙を添へたものです

この日、陸軍省に木村次官を訪れたナチス婦人團京濱支部長エター夫人はめでたく寄贈を終へたあと、樞軸女性の意氣と優しさを次のやうに語りました

『日本の戰ひはまたドイツの戰ひでもあります。かうして私どもが傷ついた日本の兵隊さんたちをお慰めすることは同時に祖國ドイツへの奉仕でもあると信じます。あの貧しい贈物が少しでも白衣の勇士の方々をお慰めできればこんな喜びはありません』

なほこの寫眞の製作には日獨婦人會側からも令孃を伴つた東條總理夫人、荒木光太郎博士夫人らが參加し、それに女子科學塾の女生徒六名も特に應援を買つて出て、大戰下和かな日獨親善風景を繰り展げたものでした

⇧ドイツ婦人が原語で説明をつければ、その傍から女子科學塾のお孃さんたちが日本語の説明を書きこんでいく

▼　▼　▼

木村陸軍次官に渡される五つの小函、赤いリボンは日獨の友情と誓ひを固く結んでゐる⇩

紙を漉く國民學校

大阪府布施市長榮國民學校

撮影 中藤 敦

⇦ 一枚の紙でもそれが出來上るまでには大變な手數がかゝるのです。まづ紙の種類によつてその原料も違つてきます

⇦ 釜で煮つめた原料は簡單な米つきのやうなもので叩いて纖維を分離させます。これはお餅をつくときと同じやうに臼の中で原料を混ぜてゐるところです

⇦ 紙をすくには紙屑を大釜に入れてこれに苛性ソーダを加へ、一時間ほどドロ〳〵になるまで煮つめます。煮つまるまで何回となくかき廻します

⇦ かうして出來た原料はこゝで水箱のなかへ入れ糊とパルプを混ぜていよ〳〵紙すきにかゝります。これは中々むづかしく紙が一箇所に寄つて薄くなつたりして私たちは幾度も失敗しました

⇦ 紙がすけますと重ねておいて重石をし、翌日になつて紙の端を棒に一枚づゝ巻きとつて板に張ります。これも皺がよつたりして中々うまくゆかないものです

紙は文化の母であり思想戰の彈丸です

しかしこの大切な紙も私たちはこれまで何かといへば價値の少いものの代名詞のやうに『何だ紙の一枚ぐらゐ』と、とかく粗末に取扱ひがちでした

これは大戰下物資愛護の精神にもとるばかりでなく、高い文化をもつ私たち國民の大きな恥辱であるといはなければなりません

大阪府布施市長榮國民學校ではこの大切な紙への認識を通して物を愛する心、科學する心を養ふため、先頃から上級の女生徒たちに『紙つくり』をやらせて大きな成果を收めてゐます

一たん捨てた反古紙をこゝではどういふ風にもう一度新らしい紙として役立ててゐるか、今日はこの紙を作る國民學校をみんなで見學いたしませう。説明役は高等科二年の二階堂節子さんにお願ひしました

⇦ かうして出來上つた再生の紙は美しい意匠を施して便箋や封筒やノートなどを作り、皆んなで大切に使つてゐます。むろん、お習字に使ふ用紙も私たちの手で作つたものです

⇧ **先生も生徒も軍國の未亡人**

岡崎市　太田正德

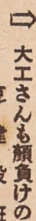
岡崎市銃後奉公會では昨年十月から市内の名刹隨念寺内に和洋裁に重點をおいた未亡人職業補導所を開設して、將來遺族たちが獨立自營、いよ〳〵家門の譽を揚げることができるよう生計の途を與へてゐますが、指導にはこれまた過ぐる上海戰で赫々たる武勳を樹て散華した故中根陸軍中尉の未亡人がこれに當り、勇士の妻たちの良き友としての献身的な努力を賞讃されてゐます

⇦ **『海外同胞訓』發表會**

東京　吉川俊三

遠く海外にあつて活躍する同胞に日本國民としての、また在留地住民としての生活のよりどころを與へようと、財團法人海外同胞中央會がかねて制定中であつた『海外同胞訓』の發表會は外務省、拓務省、情報局等の後援の下に九月十八日東京日比谷公會堂で盛大に行はれた——愛國の熱誠に燃えて『海外同胞訓』を唱和する海外同胞中央訓練所の訓練生代表

⇨ **大工さんも顏負けの豆建設班**

長野市　淸水秀二

長野縣更級郡の青木島國民學校では、このほど中支から凱旋した工兵中尉大平先生の發案で先生が戰地で痛感した建設と物資愛護の精神を實地に活かすことになり、小型製材機一臺を購入して學校經營林から材木を運び出して工作を始めましたが、いまでは立派な豆建設班ができ上り、自分たちの机や椅子はもちろん校舍の破損箇所の修繕まで引受けて本職の大工さん顏負けの活躍をしてゐます

仲仕班長の戰時輸送訓練 ⇩

長野縣　小山喜太郎

戰時輸送の第一線部隊である運送店の仲仕たちを錬成して輸送力の强化をはからうと、長野縣の南北佐久合同運送店、佐久通運會社では宇佐美小諸驛長等の肝煎りで各驛仲仕の班長を小諸に招集、このほど二日間徹夜の猛訓練で各種作業の實地指導を行ひ好成績をあげました

復習室

本號からあなたは何を學んだでせうか？

1 日獨伊三國同盟が結ばれてから今年は何周年になりましたか？……（12頁）

2 東條總理が東大の卒業式での訓話にも引用した有名な古歌『みたみわれいけるしるしあり天地の……』この下の句は何といひますか？……（4頁）

3 紙屑から再生紙の作り方を簡單に説明して下さい……（20頁）

4 こゝ四、五十日の間にアリューシャン方面で何か戰果がありましたか？……（13頁）

5 炭坑で切羽といふのは——府炭のこと？　負傷すること？　石炭採掘の最前線？……（7頁）

6 甘藷を原料にして出來る製品のうち主なるもの三つをあげて下さい……（16頁）

7 日本の潜水艦が大西洋で活躍してゐますが、ドイツの潜水艦も我が海軍に協力して○○洋で作戰中です……（12頁）

8 熊本縣の千田村では從來反當り千斤そこ〳〵の甘藷の出來高を反當り一万斤にまで引上げたさうですが、何か秘訣があつたのでせうか？……（17頁）

9 このほど在京ナチス婦人團から陸軍省へ皇軍慰問品が屆けられましたが、これは——ドイツ本國から秘かに屆けられたもの？　在京ドイツ婦人が作つたもの？　日獨婦人が協力してこさへたもの？……（19頁）

10 フィリピンの治安第一線に立つ警察官は——現地人を日本軍で訓練して養成してゐる？　日本の警察官を現地に派遣して組織してゐる？　當分おかない方針？……（14頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか？

照準器

少年陣頭に立つ

街頭の清掃推進隊　小泉紫郎

『大人は煙草の吸殼を所構はず捨てていけません。こんなのを首からかけたらどうです。罐詰の空罐に紐を通しただけです。これに捨てなさい』

とんだ忘れ物　森熊猛

『をぢさん、辨當をたべた後にこんな新聞紙おき忘れてあつたよ、リュックサックに入れて持つて歸つて下さい』

しるこより弾丸切手　榎本映一

『おや　珍らしい　しるこがあるよ　オイ　健坊食べていかう』

『いらないよ　ボク　弾丸切手の方がいゝよう』

正常歩指導班長　秋玲二

『さア、さア胸を張つて、音樂に合せて、ホラ、オイチ、ニ、オイチ、ニ』

東が白んだ起きなさい――　南義郎

曉々と起床ラッパ　それに次いで『兵隊さんありがたう』の合唱を高らかに歌ひます　をぢさんもをばさんもびつくりして起きます

赤信號　杉柾夫

『お父さんも　をぢさんたちも駄目だよ　よく信號をみなくちや　大人のくせに交通規則を守らないのね』

大東亞戰爭漫画日誌

石川進介

第三回航空日に雛鷲郷土訪問

ブラジル總動員令を發布

米敗戰の事實を小出しに發表

マダガスカルの佛軍停戰拒否

英の艦船至る處で沈めらる

歸米のグルー國民に警告しきり

本誌を戰地にお送りになる場合には送料は内地と同様で帯封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢、二部二錢です

寫眞週報（禁轉載）

昭和十七年十月七日印刷發行

編輯者　東京市麹町區永田町一ノ一　情報局

印刷發行者　東京市麹町區大手町　内閣印刷局

定價	申込所
一部十錢（送料一錢）（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）▲豫約配送御希望の方は一部十錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい ▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます	全國各地官報販賣所　書店・驛賣店　新聞販賣店　寫眞材料店

★表紙

肩が抜けさうな豐穰(みのり)の重さ 冬から春、夏、秋と無言の努力が、今日この喜びにかはる。微笑に綻びる豊かな頬に秋の日射しが輝り映えて『働く乙女』の姿を潑剌と躍らせる――熊本縣鹿本郡千田村の甘藷増産風景から

撮影　梅本忠男

寫眞週報　昭和十三年二月十二日　第三種郵便物認可　昭和十七年十月七日發行（毎週一回水曜日發行）　第二百四十一號

内閣印刷局印刷發行

（本書の大きさは國定規格A4・「週報倍判」）